

第2510地区 第11グループ



2006~2007

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2006~07年度
国際ロータリーのテーマ

率先しよう



2006~07年度
国際ロータリー会長

ウィリアム B. ボイド

柴崎 晃 会長 テーマ — 今、出来る事から始めよう —



9月20日卓話 遠藤 茂氏

《第2075回例会》 第12号 9月27日(水)

本日のプログラム

移動夜間例会「ディナーバイキング家族会」

函館ハーバービューホテル 午後6時30分～

★会長 柴崎 晃 ★幹事 山下清司

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

◎第16回函館ハーフマラソン大会 9月24日(日) 参加選手 1,560名



(会報担当者：竹谷 満 委員)

◆純和風造り◆

ゆっくりくつろげる憩いの宿
季節の味覚と心あたたまるサービス



湯の川温泉

旅館 一乃松

函館市湯の川町1丁目3番17号
TEL (0138) 57-0001(代) FAX (0138) 57-3666

(広告掲載：松橋 博 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎9月6日出席報告

会 員	32名	出席率対象会員	31名
		出席規定免除会員	1名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	30名	当日欠席	1名
他クラブ出席	1名	出席合計	31名
出席率		100.00%	

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番

次回・10月4日
プログラム

卓話「国際情勢と日本の防衛について」

海上自衛隊函館基地隊司令一等海佐 武田 功氏

9月20日の記録

◎司 会 柴崎 晃 会長 ◎斉 唱 それでこそロータリー、四つのテスト

◎ゲ ス ト 南北海道TPM会会長 遠藤 茂 氏

◎ビジター 函館五稜郭R.C. 酒井正人君(ガバナー補佐エレクト)、能戸 彰 君

◎会長報告 柴崎 晃 会長

○ハーフマラソンの後援することについて市役所へ行って来ました。

◎委員会報告

●社会奉仕委員会 高田 剛 委員長

9月24日の函館ハーフマラソン大会の最終確認をします。給水業務についてリーダーの変更がありますが、よろしくお願ひ致します。

●国際奉仕委員会 山下 清司 幹事

(GSE団員募集案内)「GSEでマレーシアに行ってみませんか」2007年10月23日から4週間の予定です。募集人員4名(2510地区から4名)です。

◎幹事報告 山下 清司 幹事

○台北東北R.C. 創立25周年記念式典が、2007年3月10日に行われますので多数ご参加下さいますようお願い致します。

○当クラブ次週27日の例会は、夜間例会に変更です。(ハーバービューホテルにて)

○七飯R.C.の観月会が26日開かれますので、参加ご希望の会員は幹事まで。

○千葉港R.C.より会報が届いておりますので回覧いたします。

○函館亀田R.C.10月2日移動例会、函館東R.C.3日夜間例会、函館セントラルR.C.10日夜間例会に夫々変更です。

◎親睦活動委員会 崎野 浩志 委員長

ニコニコBOX投入報告

酒井正人ガバナー補佐エレクト……ごあいさつに伺いました。

柴崎 会長……ロータリーを楽しく。遠藤様よろしくお願ひ致します。

山下 幹事……早朝例会おつかれ様でした。

森 会員……遠藤様、本日卓話よろしくお願ひ致します。

藪下 会員…… ”

高田 会員……マラソン大会宜しく。

小笠原会員……ロータリーを楽しく。

斉藤 会員…… ”

松橋 会員……北海道カントリークラブグランドシニア優勝しました。

◎卓話「これからの道德教育」 南北海道TPM会会長 遠藤 茂 氏

◆財団法人モラロジー研究所

財団法人モラロジー研究所は、倫理道德の研究と心の生涯学習を推進する文部科学省所管の社会教育関係団体です。大正15(1926)年に、法学博士・廣池千九郎が創立、以来一貫して人間性・道德性を高める研究活動、生涯学習活動、出版活動を展開しています。

現在は、地球的・国際的視点から、さらに道德の研究を深めるとともに、「人づくりによる国づくり」をめざす生涯学習と「累代教育」による未来社会の建設に貢献する活動を推進しています。

◆モラロジー

モラロジー(Moralogy)は、「道德」を表すモラル(moral)と「学」を表すロジー(logy)からなる学問名です。日本はもとより世界の倫理道德の研究をはじめ、人間、社会、自然のあらゆる領域を考察し、人間がよりよく生きるための指針を探求し提示することを目的とした総合人間学です。

モラロジーでは、一人ひとりの幸せと心豊かな社会の実現には、人間の品性を高める質のよい道德の実行が必要だと考えています。一般に、道德は「人間の行為の規範」と理解されているように、行いや形式面が強調されがちです。モラロジーでは、行いはもちろんですが、それ以上に行いのもとになる心のあり方(心づかい・考え方)を重視しています。

〈モラロジー教育では3つの心を育てます〉

●感謝の心

大自然の恵み、また家庭や国の恩恵などに対する感謝の心は、自分の命はもちろん、あらゆる命を大切に尊厳性をはぐくみます。そして恩返しをしたり社会や世界に貢献していく勇気を育てます。

●思いやりの心

相手の立場に立って考えることのできる思いやりの心は、人の喜びや悲しみ・痛みへの共感性をはぐくみます。そして自分を反省したり、相手を許す謙虚さや周囲に奉仕する深いやさしさを育てます。

●自立の心

夢や志に向かって、主体性を持って生きようとする自立の心は、家庭人、社会人、また国民としての責任感や使命感をはぐくみます。そして地域や国際社会に目を向けていくたくましさを育てます。

◎社会奉仕委員会 高田 剛 委員長

函館ハーフマラソン支援活動に先駆けて、9月13日に会長・幹事・会長エレクトともども多賀谷教育長を表敬訪問してまいりました。

